

2012年(平成24年)2月16日

木曜日

享月

日

業庁

星

譜面作り篠笛伝承

「横浜やっしゃ鯛」の水野さん

独習助け後進育成

19日、シンポで活動報告

祭り囃子や神楽などに欠かせない篠笛。口伝で演奏方法が継承されてきたが、高齢化などで篠笛奏者が途絶えた囃子連もある。そんな中、20年前から分かりやすい譜面作りに取り組み、後継者育成に一役買ってきたのが、横浜市の水野雅広さん(50)だ。19日に市内でシンポジウムを開き、活動を報告する。



小林さんに篠笛を指導する水野さん(左) 大和市深見

13日、大和市深見の八坂神社。境内の自治会館から陽気な囃子の音が漏れた。地元の男女18人の「深見八坂神社囃子連中」が、横浜市の囃子連「横浜やっしゃ鯛」で理事を務める水野さんの指導を受けていた。

メンバーの一人、小林均さん(68)は篠笛歴が半年に満たないが、軽やかな指運びを見せた。実は囃子連中結成当初の40年前にも篠笛を習い始めたが、譜面がないうえ師匠の手の動きを何度見ても覚えられず、諦めて事務方を続けてきた。

半年前、囃子連中が水野さんの指導を受けることが決まったのを機に再挑戦すると、今度はすぐに上達した。「譜面で自主練習しました。もっとうまくなれば孫にも篠笛を教えられるかもしれない」と喜ぶ。

水野さんが分かりやすく工夫した篠笛の譜面作りに取り組んで20年近くになる。最初は自分の練習のためだった。譜面があれば独習でき、メロディーを後世に伝える利点もある。後継者難が進む中、「もっと効

果的に篠笛を教えられるはずだ」と譜面作りの計画を立てて国を説得。5年前から国の助成で各地の囃子連を回り、演奏を聴いては譜面をつくって提供するようになった。

一つの囃子連に20〜30回足を運んで譜面作りを続け、1曲完成するのに半年かかることもあるが、これまでに横浜市内20地域の囃子連に譜面を提供した。

2年前からは県との共同事業で、大和や厚木などの八つの囃子連に譜面提供と指導を続ける。譜面の改良も重ね、同じ音調ごとに赤、青、黄色などに色分けした。「お囃子の核である篠笛がなくなれば、大抵のお囃子は消えてしまう。篠笛奏者を増やすことが課題だ」と話す。

19日午後1時半から、横浜市中区の横浜情報文化センター・情文ホールでシンポジウムを開き、水野さんはこれまでの取り組みを報告する。祭り囃子の実演もある。入場無料。申し込みは横浜やっしゃ鯛(045・262・2612)へ。

(長谷川健)

厚木、大和の伝統芸能 保存や伝承を 考えるシンポ

横浜で19日

厚木、大和両市の祭りばやしや神楽などを題材に、地域の伝統芸能の保存・伝承を考えるシンポジウムが19日午後1時半から、横浜市中区日本大通の横浜情報文化センター情文ホールで

開かれる。伝統芸能の調査研究・演劇団体「横浜やっしや鯛」(川口洋代表)の主催。

横浜やっしや鯛は、県との協働事業として「かながわボランティア活動推進基金21」を利用した伝承普及・啓発事業「祭りの音」プロジェクトを、2010(11年度)に展開。元来、口伝で後継者を育成するのを、

譜面・音源化し、担い手がいなくなっていた笛を復活させるなど伝承方法のモデルづくりに取り組んできた。

理事の水野雅広さんによると「高齢化などで笛吹きを育成できないことが、伝統芸能の伝承が途絶える最大の課題になっている」という。シンポジウムでは特に、この笛の伝承に焦点を

当て、厚木、大和両市内の神楽やはやしの保存会8団体での成果事例を発表。譜面化の手順を紹介し、7団体が実演する。

東京文化財研究所名誉研究員・星野紘さんによる基調講演、パネルディスカッションもある。入場無料。問い合わせは、横浜やっしや鯛045(262)2612(ファクス)。

伝統芸能担い手を

中区で19日 育成法考えるシンポ

後継者不足が課題となっている県内各地の伝統芸能について、有効な担い手の育成方法を考えるシンポジウムが十九日午後一時三十分から、横浜市中区の横浜情報文化センター「情文ホール」で開かれる。

担い手育成の事例発表として、祭りばやしと神楽の愛好グループ「横浜やっしや鯛」の指導者水野雅広さん(五〇)が講演する。

はやし方や曲芸など

後継者不足が課題となっている県内各地の伝統芸能の後継者不足について「師匠の動きを見て覚えるしか方法がなかったから」と一因を指摘。「譜面や音源を用意し、効率的な環境を整えることが大切」と説く。

講演では二〇一〇、一一年度に県との共同事業として厚木市や

大和市の計八団体を対象に実施した、普及活動の成果などを話す。

このほか、パネルディスカッションなどもある。入場無料だが、事前申し込みが必要。問い合わせは「横浜やっしや鯛」〇四五(262)2612へ。(藤浪繁雄)

2012

1月号

県

のたより

KANAGAWA

1 <祭囃子・神楽>の保存、伝承を考えるシンポジウム

日程／2月19日(日)13時30分＝横浜情報文化センター 内容／地域の伝統芸能を巡る諸問題の解決をテーマに講演、パネル討論 定員／200人
申込み／電話で1月31日までに横浜やっしや鯛〇四五(262)2612へ 問合せ／前記か県文化課〇四五(210)3808